

IMPM International Masters Program for Managers

国際マネジメント修士課程

1. IMPM とは
2. プログラム内容（マインドセット（五つの思考様式））
3. IMPM の特徴
4. IMPM ビジネススクール
5. 参加者の声

1. IMPM とは

1996 年にヘンリー・ミンツバーグにより共同設立された International Masters Program for Managers (IMPM, 国際マネジメント修士課程) は、マネジメント教育と組織開発に変化をもたらしてきました。このプログラムは参加者の業務の実態に合わせて、組織における知識、実務、マネジメント力とリーダーシップ力、イノベーションの向上を目的としています。

IMPM とそのマネジメント教育の革新的なアプローチは、世界的な教授陣とともに学ぶことで、経験のあるマネジャーが成長することを目指しています。

マネジャーの立場でプログラムに積極的に関与して、経験から学び、選抜されたクラスの仲間の洞察、能力を共有し、ヘンリー・ミンツバーグ教授を含む世界中のトップレベルの教授陣から最新のマネジメントアイデアとビジネスコンセプトを学びます。

IMPM は、非常にインターナショナルなプログラムです。それは IMPM がすべての大陸から参加者を集め、異なった業種から企業を集めているからだけではありません。IMPM は、5つのインターナショナルな環境をカリキュラムに組み込んでいるのです。世界を旅しながら基本となる5つのマインドセット（五つの思考様式）について考えを巡らせます。クラスの仲間と教授陣の経験と専門知識を通して、協力しながら学んでいきます。16 ヶ月の期間中にランカスター、モントリオール、横浜、リオ、バンガロールの世界トップレベルのビジネススクールでそれぞれ10日間のモジュールが開催されます。それらの学びの成果は、各モジュールの間に参加者が職場に戻り、同僚や部下とチームを作って学習内

容を共有することで組織変革に繋げることが期待されています。

受講者の多くは、修士号取得の申請をしますが、学位の対象でないエグゼクティブプログラムとして受講することも可能です。すべてのモジュールを修了すると「インターナショナル・マネジメント・プログラム証明書」(IMP)証明書が授与されます。

2. プログラム

マインドセット（五つの思考様式）&内容

●モジュール1 自己のマネジメント 内省のマインドセット

イギリス北部の湖水地方は、これまでのマネジャーとしての自分自身と自らの経験について思慮深い内省をするために適した場所です。IMPの導入部分となるこのモジュールでは、「内省の本質」、「関与型マネジメント」、「リードするために学ぶ」、「徳倫理学」、「実践知」と個人・グループの意思決定、長い年月に亘るビジネスカルチャーを学びます。「ファースト・パーソン・アクション・ラーニング」にも重点を置きます。このモジュールは、世界のトップビジネススクールの一つとして評価され続けているランカスター大学マネジメントスクールのトップクラスの教授陣によってデザイン、提供されています。

●モジュール2 組織のマネジメント 分析のマインドセット

北アメリカで最も魅力的な都市の1つのモントリオールにあるカナダの一流大学、マギル大学が分析のマネジメントのモジュールを主催します。セッションでは、「ビジネス戦略」、「ファイナンシャル・マネジメント」、「ビッグデータ」、「AI」を通して、単なるテクニックを超えた分析能力を向上し、更にファイナンシャル能力と組織行動学習能力を高めます。分析マインドセットは、ビジネスの意思決定に影響を及ぼす先入観に注目し、異なる組織構成と形を研究します。

●モジュール3 リレーションシップのマネジメント コラボレーションのマインドセット

日本の一流大学である横浜国立大学では、チーム内、組織、部門、国家間のビジネス連携など、様々な形のコラボレーションについて研究します。日本、中国、韓国からの教授陣によるレクチャーによりコラボレーションビジネスの世界についての東アジアの視点を学びます。イノベーションの中心地や一流のハ

イテック企業への訪問は、コラボレーションがどのように急速な技術革新と破壊的技術を生み出しているかを直接学べる機会です。

●モジュール4 変革のマネジメント 行動のマインドセット

ブラジルのトップビジネススクールとして教育省(2015)に評価された FGV/EPABE のリオ・デ・ジャネイロでは、マネジメントの変化と継続について考察します。このモジュールでは、個人、ビジネス、コミュニティ行動学習に注目し、多様なコンテキストによって異なる行動と学習の形について研究します。リオは、革新的変化を作り出す、個人とグループの「why not?」の精神を理解するために適した場所です。地方開発とグローバル化の良い例となる地方企業と多国籍企業の訪問は、シニアマネジメントとリーダーシップ・アクションのセッションの議論の視点となります。

●モジュール5 コンテキストのマネジメント ワールドリーのマインドセット

インドは、自分自身をよりよく理解するために、他国について学ぶ最も良い場所です。インド経営学院バンガロール校(中央アジアでトップビジネススクール, 2017(Eduuniversal))が主催するこのモジュールは、「Globalization」と結びつく一様性を越えた「Worldly (ワールドリー)」とは何かを研究します。ビジネスと社会の多様性の良い例となる企業の訪問を通してファイナンシャル・マーケットの多様性、消費者行動、持続可能性、ビジネス成長、ステークホルダーマネジメントを観察します。ハイテク・ソフトウェアキャンパス、世界一流のコンサルティングとデジタルビジネス会社、地方の少額融資組織などが訪問する企業の一例となります。

【参加企業一覧(過去20年間)】

Électricité de France

Fairmont Hotels

Swiss Re

Target

The Boeing Company

BSI

Deutsche Telekom

Lufthansa Airlines

British Telecom

Panasonic

Sasken
LG
L' Oreal
Knock
Fujitsu
Royal Bank of Canada
Sealweld
POSCO
TATA Steel
AstraZeneca
Brazilian Development Bank
Red Cross
Gaz de France
Hewlett-Packard
World Scouts
Glencore
Asahikasei

その他、自身の会社を経営している起業家が参加します。

3. IMPM の特徴

● マネジメント交流 & 企業訪問

プログラムの間には、他の参加者とペアを組み、ホストとビジターの役割をそれぞれ担当し、お互いの職場を訪問します。他のマネジャーを観察し、フィードバックするのは、シンプルな方法でありながらとても効果的です。IMPM のビジネススクールは、様々な企業とのネットワークがあり、5つのモジュールで定期的に徹底した企業訪問を行います。参加者は、それぞれのモジュールで学んだコンセプトを適用しながら組織を分析します。この方法により、モジュールのマインドセットとビジネスコンテキストを結合でき、参加者の会社にも効果的な影響を及ぼすことができます。

● 内省的アクションラーニング & co-coaching

参加者の実務経験を重要な成長の土台として活用します。参加者は、プログラムを通じて、「マネジメント・アクション・ラーニング」のダイナミックなプロセスとお互いにコーチングし合うことで学びます。IMPM は、50:50 のルールを

設けています。セッションの半分の時間は参加者の発言に充てられます。但し、参加者の状況、必要に応じて時間配分は柔軟に行われます。ラウンドテーブルに座って、仲間と経験を共有し学び合います。通常は、多様な経験を得られるように異なった経歴のメンバーが一緒のグループになりますが、必要に応じて、業種別、組織の規模別、企業別のグループ分けをすることもあります。

●フレンドリー・コンサルティング&組織効果

マネジャーにとって魅力的なものは、ワークショップやディスカッションのさらにその先をいくものです。関与型のマネジャーである参加者達は、ワークショップやアイデアの議論より先をいきます。困難な組織的課題に対する新たな考え方を生み出すために、参加者同士で業務上の課題を共有します。このプロセスはプログラムの間ずっと続きます。

フレンドリー・コンサルティングとは、このプログラムで開発されたプロセスであり、我々はフレンドリー・コンサルティングというコンピテンシーを共有するプロセスを開発しました。そこでは参加者と教授陣がチームとなり個々の参加者の重点課題に対するフィードバックやアドバイスを共に考えます。個々の成長を組織の「インパクトチーム」と一体化し、プログラムを通して、プロフェッショナルとしての参加者個々の成長と参加者の組織のインパクトチームを一体化させて、組織内の学びと変化に広めます。組織内に学びを広め、継続的な変革を作り出していきます。

●応用学習

デジタル学習の「close learning」を通して、5つのマインドセットのモジュールで得られた知識と学びをミニ・モジュールにより参加者の組織に広めます。5つのモジュールの間に、参加者は4つの追加のミニ・モジュールの中からマインドセットの学習を選択し、それぞれのビジネスコンテクストに展開します。参加者のビジネスにカスタマイズし、会社のチームとグループが定期的集まり、気づきを共有し、それぞれのマインドセットの学習を応用しながら、組織の発展とビジネスインパクトを生み出します。

●参加者のプロフィール

参加者はマネジャーとしての経験を含む10年以上の実務経験があり、平均年齢は35~55歳です。ビジネス、IT、エンジニア、医学など、様々な学位を持ったマネジャーが参加します。関連の実務経験があれば、学位のないマネジャーも

参加可能です。参加者は、起業家、家業経営、専門家、さまざまな規模、業種のシニアマネジャーなど多岐にわたります。

●受講費

IMPM は、金額に見合う最高の価値を得る国際プログラムの一つです。受講費は、5つのモジュール全ての授業、参考図書、自己学習教材を含む教育教材、コーチング、チュートリアル、その他モジュール間のサポート全ての費用が含まれています。ただし、旅費や生活費は別途となります。

国際・マネジメント・プログラム証明書 (IMP) 取得の受講費用は 45,000US ドル、内、初期の保証金は 3,000US ドルです。

最終学位を取得するためには、5つのモジュールの修了後、論文作成前に別途 9,000US ドル必要になります。

4. IMPM ビジネススクール

IMPM は、世界の有力なビジネススクールと共同で運営しています。Best Masters2017で国際マネジメント(北アメリカ)の1位を獲得しました。

●ランカスター大学マネジメントスクール Lancaster University Management School

UK における研究分野で最高のビジネススクールの一つで、学生の多様性と世界最高レベルの質と影響力で知られており、AMBA, EQUIS, AACSB, Small Business Charter の4つの認証機関から認定されています。先端知識への協働的なアプローチは世界中の人材を集めています。

研究力(REF2014)ではUK1位、Times University of the Year2018に選ばれました。

●マギル大学経営学大学院 McGill University's Desautels Faculty of Management

BusinessWeek, Canadian Business, Forbes, The Economics, The Financial Times で世界最高の国際ビジネススクールの一つとしてランクインしました。

革新的なプログラムと長年得られている高評価・信用は、世界各地からの才能豊かで意欲的な学生と一流の教職員を魅了し続けています。

QS World University Rankings 2018 で世界ランキング 32 位を獲得しました。

●横浜国立大学 Yokohama National University

東京から 30 分に位置する横浜は日本で 2 番目の都市であり、日本の現代ビジネスの玄関口です。広大で緑豊かな横浜国立大学は、日本の一流大学であり、産業界と親密な連携があります。また、東アジアの様々な大学との連携など、長年にわたり、地域に貢献し、国際分野で役割を果たしています。

Times Higher Education Japan Rankings 2018 で 25 位にランクインしました。

●FGV-EBAPE

インターナショナル教育に重点を置いています。1950 年に設立され、中南米初の経営管理教育機関 (Formal administration training) となりました。2 年連続でブラジルの最高の経営管理大学、ブラジルのトップ 3 の高等教育機関として評価されています。

2017 Global Go To Think Tank Index (Non-US) では、世界 7 位にランクインしました。

●インド経営大学院バンガロール校 Indian Institute of Management, Bangalore Eduniversal で 9 年連続、中央アジア最高のビジネススクールとしてランクインしました。現代のダイナミックなビジネス環境で成功するために欠かせないリーダーシップと起業家能力を重視しています。世界各地 114 のトップビジネススクールと様々な研究活動や学生・教員交換留学プログラムなどで連携しています。

Financial Times Executive Education Rankings 2017 で世界トップ 65 位にランクインしました。

5. 参加者の声

●「どうすればより良いマネジャーになるかを学ぶのが一つ、そうなるために変化し成長するのがもう一つ。優れたリーダーがインパクトを残すためには一旦止まって、内省し、考察してから行動すること。IMPM はその力を与えてくれました。今は、内省するリーダーとして、聞く、観察することを重視し、チーム、ビジネス、顧客をより理解するようになりました。この向上した見識によって、今の私はより良い成果を生み出すことができるようになりました。」

~Miles Kotylak VP Advisory Services, ATB Financial Services, Canada

● 「LG の参加者がいる韓国に訪問した際、自分の会社は破壊的技術に弱みがあるということに気づき、これをきっかけにブラジルのトップ IT 大学と共に子会社を作りました。この決断が会社を救えると信じています。」

～Gustavo Miotto -Board Chair, Soprano Electrometalugica, Brazil

● 「IMPM の18ヶ月の期間中に年間の10%の売上の減少を15%の伸び率に変えることができました。更に、幹部のマインドセットを変え、顧客インサイトを集めて適用する際の新たな方法を組み込むことができました。」

～Peter Beeby Co-founder, Nutribox, UK

● 「IMPM は、組織課題の組立や、課題に対する見解の共有、チームと課題を解決する際の新たなツールを提供してくれました。このプログラムは、企業と自分自身について学ぶ良い機会を与えてくれました。IMPM で変化できるチャンスを確認し、解決に向けて前向きな貢献に専念することで、企業で影響力のあるインパクトを与え続けられる余裕がまだあることに気づかされました。」

～Oumar Ba Corporate Director, Information Technology, Cascades Inc., Canada

● 「Solution を求められ、新たな Biz Model を創出し、付加価値と差異化が求められる中、Solution が Localization されるべきものであり、そこに Globalization との矛盾が存在する事に早くから気づかされました。教授から得られる知見は期待以上のものであり、クラスメートから得られる気づきは、その後の Biz に大きな影響を与え、今だに彼らとの繋がりに助けられています。人生そのものを変える出会いとなるでしょう。」

～Cyc5参加（富士通株式会社時代）株式会社ソシオネクスト代表取締役社長 井上あまね